

(全五枚中の一枚目)

校種
中・高・特中・特高
受験番号

⑦ 中学校・高等学校 国語 解答例



4点×2		4点		3点×2		4点		4点		4点		4点		1点×6	
(八)		(七)		(六)		(五)		(四)		(三)		(二)		(一)	
結 論	序 論	け	脳 <small>(例)</small>	(例) 健常者の脳内にチップを埋め込んでもよいのかという倫理的な懸念があること。		整	暗 <small>(例)</small>	め	難 <small>(例)</small>	(例) なまじお金を持っていたため、無駄な物ばかり買い浪費した。		(例) 「ぶつかる」は自動詞である。自動詞とは「くを」にあたる目的語をとらない動詞で、その物や人自身の動作や作用を表すものである。		④	①
(例) 結論は①段落で、これまでの論を踏まえつつ、文章のまとめとして暗記するという事について筆者の意見を述べている。	(例) 序論は①③段落で、筆者の経験を述べながら理解するという事について話題提示を行っている。	で	の	(例) コンピュータの情報はただ蓄えられているだけで、暗記した情報のように「整理」されないこと。		理	記	ば	し	(例) 「ぶつかる」は自動詞である。自動詞とは「くを」にあたる目的語をとらない動詞で、その物や人自身の動作や作用を表すものである。		損傷	閲覧		
		な	な			「	し	、	い						
		く	か			さ	た	そ	書						
		、	に			れ	情	の	物			⑤	②		
		心	貯			全	報	意	で			治療	伴		
		地	め			体	の	味	あ						
		よ	た			の	あ	は	っ						
		さ	情			理	い	自	て						
		も	報			解	だ	然	も						
		感	を			が	に	に	、						
		じ	瞬			し	っ	分	何			⑥	③		
		ら	時			や	な	か	度						
		れ	に			す	が	っ	も			潤	全盛		
		る	思			く	り	て	繰						
		こ	い			な	が	く	り						
		と	出			る	生	る	返						
		。	せ			こ	ま	こ	し						
			る			と	れ	と	て						
			だ			。	「	。	読						

※傍線部が2点

※何も記入しないこと

(全五枚中の二枚目)

校種
中・高・特中・特高
受験番号

⑦ 中学校・高等学校 国語 解答例



2点	1点×2	1点×2	2	4点	5点	5点
(一)	(二)		(三)		(四)	(五)
<p>早朝から雨が降り続けたので</p>	<p>い</p> <p>断定の助動詞「なり」の連体形 撥音便の無表記</p>	<p>き</p> <p>ラ行変格活用動詞「あり」の已然形</p>	<p>う</p> <p>種類 尊敬語</p> <p>方向 アへの敬意</p>	<p>く</p> <p>種類 謙讓語</p> <p>方向 ウへの敬意</p>	<p>(例) 中の君の夢に現れた 天人から残りの五曲が教えられ、その曲は目を覚ました</p> <p>中の君によって全くつかえることなく弾かれることになった。</p>	<p>(例) 姫君が、自分は琵琶を以前から父殿に教えてもらっているが、上手に弾けないでいる一方で、中の君は普段から弾いている箏の琴より、今夜は琵琶を上手に弾いているから。</p>
	<p>(六)</p> <p>(例) 教えた以上に素晴らしい音で琵琶を弾くので、感心する一方で、これほどの人物がひどく思い悩み、心をお乱しになる宿命にあるのは惜しいことだと嘆いている。</p>					
□	□	□	□	□	□	□

※何も記入しないこと

※(三)はう、くとも完答とする

※波線部が1点、傍線部が2点



校種
中・高・特中・特高
受験番号

⑦ 中学校・高等学校 国語 解答例



1点×4

6点	(五)	<p>(例)</p> <p>至人 ……どこにいてもどんな場面でも動揺しない。</p> <p>⇔ 対比</p> <p>列禦寇 ……高山に登り、恐れて目がくらみそうになっている。</p> <p>〈伯昏無人が列禦寇に伝えたかったこと〉</p> <p>弓の技術を磨くだけではなく、精神の鍛練こそが大切だということ。</p> <p>⇔ 不射之射</p>	3点	(四)	イ	4点	(三)	<p>(例)</p> <p>力強く弓を引き絞っても同じ姿勢のまま、動揺することなく正確に弓を射る様子。</p>	3点	(二)	於	c	a
											是		
3点	(一)	それ	d	b	なんじ	無	人						

※何も記入しないこと

※波線部が1点、傍線部が2点

(全五枚中の四枚目)

校種
中・高・特中・特高
受験番号

⑦ 中学校・高等学校 国語 解答例

四

(中学校受験者のみ解答すること)

1点×6

(一)		d		a	
け		す		き	
e		f		b	
こ				と	
				c	
				あ	

※何も記入しないこと

4点

(二)

(例) 「お読みになられる」の部分^二が二重敬語とな^一っていることを指摘し、敬語表現を一つだけ用いた「新聞をお読みになる」(「新聞を読まれる」)が正しいことを説明する。

--

6点

(三)

(例) 聞いたり読んだりして得た情報や自分のもっている情報を 図や絵、記号などを用いて整理することにより、複雑な関係を把握したり自分の思考を明確にしたりすること。

--

4点

(四)

(例) 長い年月を経てもなお現代と共通するものや現代とは大きく異なるもの。また、作品の登場人物の言動や作者の思いを考えることを通して知る作品を貫くものの見方や考え方。

--

※傍線部が2点、波線部が3点

--

校種	中・高・特中・特高	受験番号	
----	-----------	------	--

⑦ 中学校・高等学校 国語 解答例

五

(高等学校受験者のみ解答すること)

※何も記入しないこと

× 2
5 点

(一)	
d	a
う	お
e	b
し	き
	c
	け

6 点

(二)
(例) 取り上げる話題について、対立する立場など異なる意見についての理解を深めることや、相手(聴衆)の立場や話題に対する理解の度合いを事前に把握しておくことなどの工夫が必要だと考えられる。

--

4 点

(三)
(例) 「学校のアピールポイント」というテーマで、多様な考えを引き出すために、ブレインストーミングを行う。その際、カードによるグルーピングを使って出されたアイデアをまとめさせながら話し合いを行わせる。

--

※傍線部が1点、二重傍線部が3点

--